掲載日:2026年　9月　11日

研究課題名	「臨床破棄胚における検討」（施設承認番号:R6-3-3）
対象	1999年1月1日～現在まで凍結胚の破棄を申請され、破棄胚の研究利用に同意をいただいた患者さま
本研究の 目的・方法	近年、体外受精で胚移植可能となるまで発育した初期胚・胚盤胞期胚を移植しても、妊娠しない、あるいは流産する症例が多く、特に年齢が高くなるとその傾向が顕著であることが課題となっています。その原因として考えられるのが、胚のグレードや染色体の異常、胚凍結融解によるダメージであるといわれています。また昨今では透明帯の開口方法の違いや、培養液の種類によって妊娠率が変化することなども報告されています。この研究に参加された患者さまの臨床破棄胚を用いて、凍結融解法や培養液の比較、胚染色体および胚の形態学的・生化学的評価などの面から比較検討します。
利用する試料	破棄申請された凍結胚（胚盤胞・分割期胚・卵子を含む）
個人情報の 取り扱い	本研究では匿名化されたデータのみを利用いたします。個人が特定される個人情報は利用いたしません。
利益相反	凍結融解kitに関して株式会社リプロライフより提供あり
お問い合わせ	実施機関:医療法人社団 生新会 木場公園クリニック 研究責任者:吉田　淳 担当者:培養部　長谷川　久隆 連絡先:(TEL)03-5245-4122 受付時間:平日 9:00～17:00